

# 今、何の病気が流行しているか！

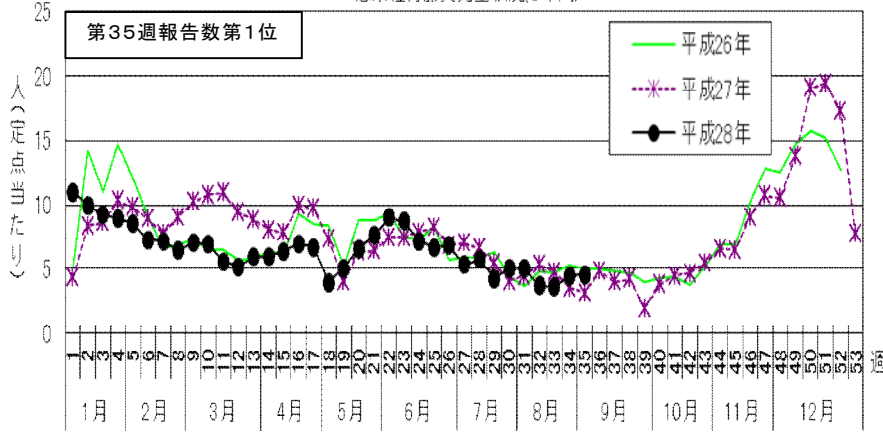
【感染症発生動向調査事業から】

平成28年8月29日（月）～平成28年9月4日（日）〔平成28年第35週〕の感染症発生状況

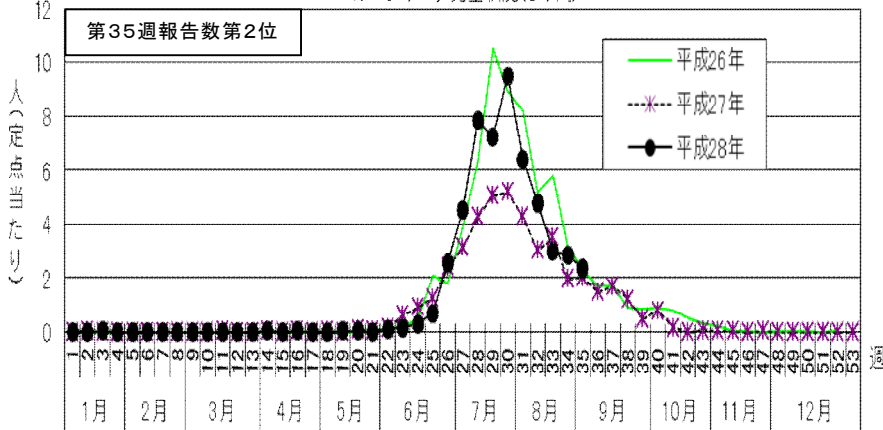
第35週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) 流行性角結膜炎でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.58人と前週（4.44人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は2.36人と前週（2.82人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は1.44人と前週（1.22人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



## 帰国後の体調不良～こんな症状が出たら～

新学期が始まりました。海外旅行から帰国された方も多いかと思います。海外では、時差や気候など様々なストレスを受けるため、体調を崩しやすくなっています。帰国後に体調不良がみられた時は早めに医療機関を受診しましょう。なお、受診の際は症状だけでなく旅行先や旅行期間を必ず医師に伝えてください。  
 ※国内では関西地方を中心に麻疹患者が急増しています。現在は海外渡航歴がない方にも感染がみられます。



帰国後

熱・下痢・発疹など



早めに

病院で診察



### 発熱

発展途上国から帰国した人の2～3%に発熱がみられると言われています。発熱の多くは、自然に治まることもありますが、マラリアなど急速に進行し、命に係わる場合もあります。

### 止まらない下痢

海外旅行へ行った人の半数以上が旅行先で下痢になります。帰国後の止まらない下痢は、「寄生虫による感染症」、「消化器の病気」、「感染後の腸の過敏」などが考えられます。

### 発疹

発熱に伴う発疹（デング熱、リケッチア感染症等）  
 ・かゆみが強い発疹（疥癬等）  
 ～医師へ伝えるポイント～  
 ◆ 旅行先での活動内容  
 ◆ 虫にさされたか  
 ◆ 皮膚の異常がいつ、どのように起きたか